

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第3区分
 【発行日】令和6年2月22日(2024.2.22)

【国際公開番号】WO2023/176984
 【出願番号】特願2023-560836(P2023-560836)

【国際特許分類】

C 0 8 J 9/04(2006.01)

C 0 9 J 7/26(2018.01)

C 0 9 J 7/38(2018.01)

10

【F I】

C 0 8 J 9/04 C E Q

C 0 8 J 9/04 C E S

C 0 9 J 7/26

C 0 9 J 7/38

【手続補正書】

【提出日】令和5年10月10日(2023.10.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

応力緩和率が23%以上であり、25%圧縮強度が1000kPa以下であり、層間強度が0.6MPa以上である発泡体シート。

【請求項2】

独立気泡率が80%以上である請求項1又は2に記載の発泡体シート。

【請求項3】

ゲル分率が30~80%である請求項1又は2に記載の発泡体シート。

30

【請求項4】

気泡のMDの扁平率及びTDの扁平率のうち、大きな方の扁平率が2以上である請求項1又は2に記載の発泡体シート。

【請求項5】

気泡のMDの扁平率及びTDの扁平率のうち、大きな方の扁平率が2以上である請求項3に記載の発泡体シート。

【請求項6】

密度が0.05~0.6g/cm³である請求項1又は2に記載の発泡体シート。

【請求項7】

厚みが0.03~2mmである請求項1又は2に記載の発泡体シート。

40

【請求項8】

動的粘弾性の損失正接(tan)の極大値を示す温度が少なくとも15~50の範囲に少なくとも1つある請求項1又は2に記載の発泡体シート。

【請求項9】

動的粘弾性の損失正接(tan)の極大値を示す温度が少なくとも15~50の範囲に少なくとも1つある請求項4に記載の発泡体シート。

【請求項10】

動的粘弾性の損失正接(tan)の極大値が0.2以上である請求項1又は2に記載の発泡体シート。

50

【請求項 1 1】

動的粘弾性の損失正接 ($\tan \delta$) の極大値が 0.2 以上である請求項 9 に記載の発泡体シート。

【請求項 1 2】

請求項 1 又は 2 に記載の発泡体シートと、前記発泡体シートの少なくとも一方の面に設けられる粘着材とを備える粘着テープ。

10

20

30

40

50